

放射線の管理・防護

平常時の管理に伴うモニタリング

原子力発電所など原子力施設の周辺では、原子力施設から放出された放射性物質による周辺環境への影響を監視するため、敷地周辺にモニタリングポストやモニタリングステーションを設置しています。

これらを用いて環境中の放射線量を監視し、事業者や自治体のホームページなどで情報が公開されています。

また、周辺の海底土、土壤、農産物、水産物などについても、定期的に試料を採取して放射能の測定(モニタリング)を行い、放出された放射性物質が周辺に影響を与えていないかどうかが確認されています。

全国の自治体などでは、放射線や放射能を調査しており、空気中のちりや土壤などを調べ放射性物質の分析やモニタリングを行っています。

◆原子力施設周辺の放射線モニタリング

